BUFFALO

USB&IEEE1394 ハードディスク

HD-HCIU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク..................... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク............ ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク　　　　D:CD-ROM ドライブ

・「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・本書では、Microsoft 社 Windows Millennium Edition を WindowsMe、 Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● 7200 回転のハードディスクを搭載

● USB、IEEE1394 に両対応
パソコンに付いている USB ポートと IEEE1394 コネクタのどちらにでも接続が可能です。
※ USB と IEEE1394 のケーブルを、同時に接続することはできません。
※ Windows98(SecondEdition を除く) では、IEEE1394 コネクタに接続して使用することはできません。

● ホットプラグに対応
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。
※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P13、15「本製品の取り外しかた」】

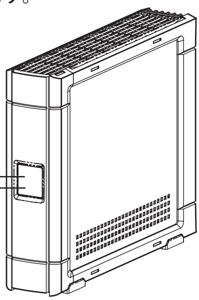
● 本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません（OS を起動できません）。あらかじめご了承ください。

● PC 連動 AUTO 電源機能を搭載
パソコンの電源の ON/OFF に合わせて、本製品の電源も自動的に ON/OFF されます。
※ 本製品の電源は、手動で ON/OFF することもできます。

● FAT32 フォーマット済み
出荷時に論理フォーマットされていますので、そのままパソコンに接続してご使用いただけます。
※ Windows98SE/98 の場合は、ご使用になる前にドライバのインストールが必要です。
※ MacOS 9.1 ～ 9.2.2 をご使用の方は、再度フォーマットすることをお勧めします。そのまま使用した場合、ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）するとパソコンが停止したり、ファイルが通常にコピーできないことがあります。
※ Windows Server 2003 や MacOS X の場合は、フォーマットが必要です。

各部の名称

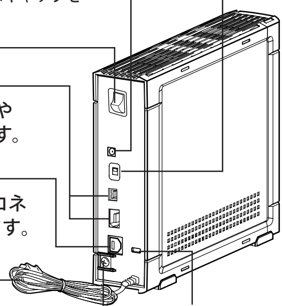
● 前面



パワーランプ（緑色）
ハードディスクが動作可能なときに点灯します。

アクセスランプ
アクセス時に点灯します。
USB2.0 接続時： 赤色
USB1.1 接続時： 緑色
IEEE1394 接続時： オレンジ色

● 背面



オプションファン用 DC コネクタ
オプションファン「OP-FAN」（別売）を接続できます。出荷時はキャップがしてありますので、オプションファンを接続するときはキャップを取り外してから接続してください。

AUTO 電源機能切替スイッチ

電源スイッチ

IEEE1394 コネクタ
パソコンの IEEE1394 コネクタや他の IEEE1394 機器に接続します。

USB コネクタ（シリーズ B）
パソコンや USB ハブの USB コネクタ（シリーズ A）に接続します。

電源ケーブル

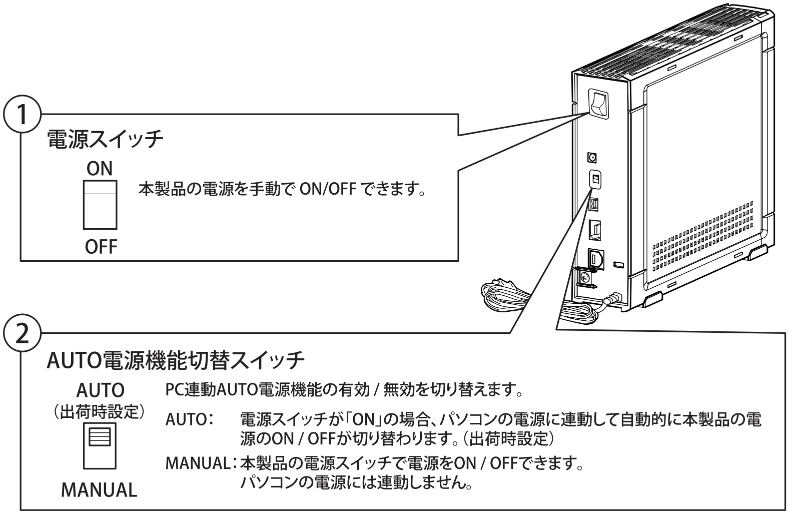
セキュリティスロット

フレームグランド
※別途アース線を用意し、接続してください。

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

電源の ON/OFF

「PC 連動 AUTO 電源機能 」によってパソコン本体の電源 ON/OFF に合わせて自動で ON/OFF することも、手動で ON/OFF することもできます。



⚠注意 「PC 連動 AUTO 電源機能 」使用時の注意

- **本製品を IEEE1394 で接続している場合、DV カメラなど他の IEEE1394 機器を本製品に接続すると自動的に本製品の電源が ON になり、パソコンの電源には連動しなくなります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作して ON/OFF 切り替えしてください。**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。**
- **パソコンによっては、パソコン本体の電源スイッチを OFF にしても本製品の電源が OFF にならないことがあります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作して ON/OFF 切り替えしてください。**
- **本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USB や IEEE1394 からの電源供給だけでは、本製品を使用できません。**
- **AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品のパワーランプは消えません。本製品の電源を OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。**

⚠注意 本製品をNTFS形式でフォーマット(P19)された方へ（WindowsXP/2000/Server 2003のみ）

本製品の AUTO 電源切替スイッチを「MANUAL」にしていると、正常に認識できないことがあります。正常に認識できなかった場合は、AUTO 電源切替スイッチを「AUTO」にしてお使いください。

※ AUTO 電源切替スイッチを「MANUAL」で使用したい場合は、Windows が起動してから本製品の電源を ON にしてください。正常に認識できるようになります。

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

メモ　□ 内の手順については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

Windows 搭載パソコン

本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチを ON にする

▼

Windows98SE/98 の場合は、簡単セットアップ（ユーティリティ CD をパソコンにセットすると表示されるメニュー）からドライバをインストールする

▼

本製品をパソコンに接続する

▼

Windows Server 2003 の場合は、本製品をフォーマットする【P19】

▼

本製品が使用できるようになります。

※ WindowsXP/2000 をお使いの場合は、NTFS 形式でフォーマットすることをお勧めします【P19】。本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、そのままお使いいただけますが、4GB 以上のファイルを保存できません。NTFS 形式でフォーマットすると、4GB 以上ファイルも保存できるようになります。

Macintosh

本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチを ON にする

▼

本製品をパソコンに接続する

▼

- MacOS 9.1 ～ 9.2.2 の場合
  MacOS に付属のフォーマッタで本製品をフォーマット (初期化) することをお勧めします【P26】。フォーマットせずに使用した場合、ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
- MacOS X 10.0.4 以降の場合
  MacOS に付属のフォーマッタで本製品をフォーマット (初期化) する【P27、29】。

Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順

詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

● **PC98-NX シリーズを使用しているときは、CyberTrio-NX が「アドバンストモード」になっていることを確認してください。**
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

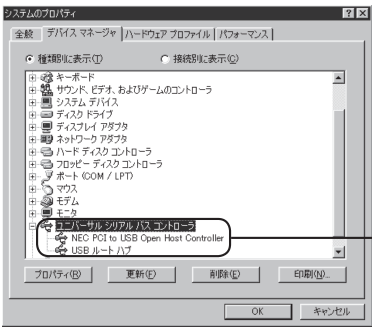
・**モードの確認方法**
タスクバーに表示されている CyberTrio-NX のインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・**「CyberTrio-NX」のモードの変更方法**
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① ［スタート］－［プログラム］－ [CyberTrio-NX] － [Go To アドバンストモード] の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② ［スタート］－［プログラム］－ [CyberTrio-NX] － [CyberTrio-NX セットアップ] の順に選択します。
③ [CyberTrio-NX のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード] を選択して [OK] をクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● **Windows98（Second Edition を除く）で本製品を USB 接続して使用するときは、次の確認を行ってください。**
①［マイ コンピュータ］を右クリックします。
②メニューが表示されたら、［プロパティ］をクリックします。
③［デバイス マネージャ］をクリックします。
④［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］の下に表示されているデバイス名を確認します。



［NEC PCI to USB Open Host Controller］と表示されている場合は、Windows98 System Update をインストールする必要があります。［NEC PCI to USB Open Host Controller］が表示されていない場合は、Windows98 System Update のインストールは不要です。

※ Windows98 System Update は、マイクロソフト社の Windows Update サイト (http://windowsupdate.microsoft.com/) で、インストールが行えます。

● Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

WindowsXP/Server 2003 .... ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック
Windows2000 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック
WindowsMe/98SE/98 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

・**USB 接続の場合**

使用する OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/2000/Server 2003	ディスクドライブ	ドライブユニット名　USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス ※緑色に白字で「？」が表示されますが、これは Windows 付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。
	記憶装置	USB ディスク
Windows98SE/98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	BUFFALO USB Mass Storage Device
		BUFFALO INC. USB-SATA Bridge

・**IEEE1394 接続の場合**

使用する OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/Server 2003	ディスクドライブ	BUFFALO INC.HDD IEEE 1394 SBP2 Device
	SBP2 IEEE1394 デバイス	SBP2 準拠 IEEE1394 デバイス
Windows2000	ディスクドライブ	BUFFALO INC.HDD IEEE 1394 SBP2 Device
WindowsMe	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス
	記憶装置	IEEE 1394 ディスク
Windows98SE/98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス
	記憶装置	1394/USB ディスク

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

Macintosh でのセットアップ手順

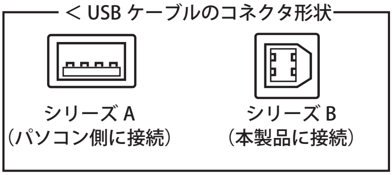
パソコンに本製品を接続します。

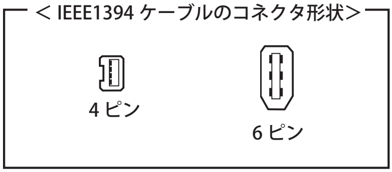
⚠注意 別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめ本製品を設置してください。

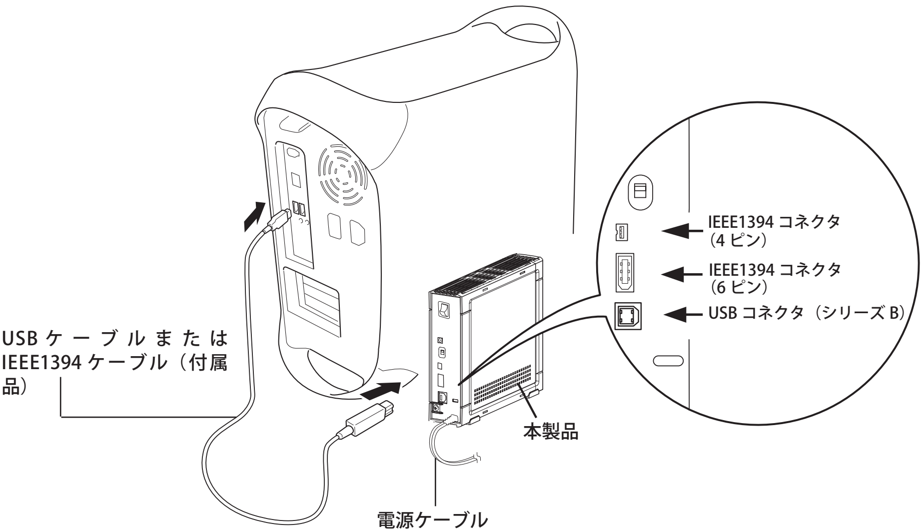
1　本製品とパソコンの電源スイッチを ON にします。

2　付属の USB ケーブルまたは IEEE1394 ケーブルで、本製品とパソコンを接続します。

USB と IEEE1394 のコネクタには、それぞれ 2 種類のコネクタがあります。形状をよく確認して接続してください。







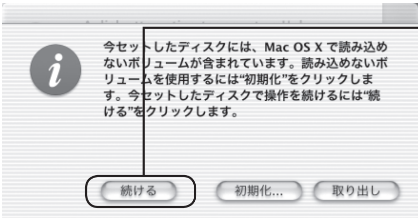
□メモ IEEE1394 ケーブルでパソコンに接続するとき、パソコンの IEEE1394 コネクタが 6 ピンの場合は、本製品の 4 ピンコネクタにケーブルを接続してください。パソコンの IEEE1394 コネクタが 4 ピンの場合は、本製品の 6 ピンコネクタにケーブルを接続してください。

次のページへ続く

Mac OS X 10.0.4 以降をお使いの場合

本製品を接続すると、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、以下の手順を行ってください。

1



［続ける］をクリックします。
クリックすると、「Disk Utility」が起動します。

※ この画面は、Mac OS X 10.1 の画面です。Mac OS X 10.0.4 では、少し画面が異なります。

2 画面が消えたら、Mac OS を再起動します。

以上で本製品の接続は完了です。

⚠注意
- **MacOS X 10.0.4 以降でご使用の場合は、本製品を Mac OS 拡張フォーマットで初期化してください。【P27、29】**
- **MacOS 9.1 ～ 9.2.2 でご使用の場合は本製品が使用できるようになりますが、MacOS 拡張フォーマットで初期化を行うことをお勧めします【P26】。MacOS 拡張フォーマットで初期化しない場合、ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。**

メモ　正常に接続されていれば、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。本製品のアイコンが追加されない場合は、以下のことを確認してください。
- 本製品の電源が ON になっているか。
- USB ケーブルまたは IEEE1394 ケーブルや電源ケーブルは正しく接続されているか。

3 使いかた

使用上の注意について説明しています。

使用上の注意

⚠注意 **・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対に USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

● MacOS X 10.0.4 以降をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P27、29】

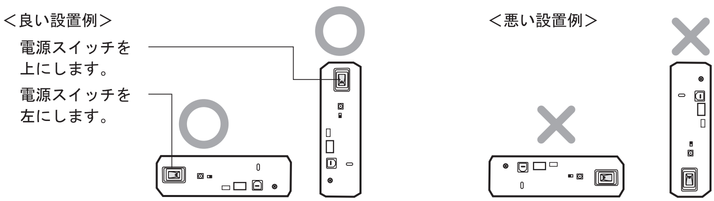
● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも、ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P13、15「本製品の取り外しかた」】

⚠注意 **ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品から OS を起動することはできません。

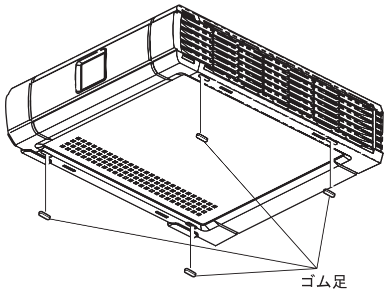
● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。



⚠注意 **動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。**

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4 個）を本製品の底面の四隅に貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意 **・右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
・本製品を積み重ねるときは、必ず別売のオプションファン「OP-FAN」を取り付けてください。



本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC 連動 AUTO 電源機能を使用しているときは、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

- **本製品を積み重ねて使用するときは、必ず別売のオプションファン「OP-FAN」を本製品に取り付けてください。**
- **本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。**
- **本製品に布などをかぶせないでください。**

● **本製品に保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。**
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。WindowsXP/2000/Server 2003 や MacOS をお使いの場合には、NTFS 形式や MacOS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● **WindowsMe/98SE/98 付属のドライブスペース 3 は使用しないでください。**
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● **Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。**
取り外さないとリカバリできません。

● **ハードディスクの動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。**

● **WindowsXP 搭載のパソコンの USB コネクタに接続する場合**
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

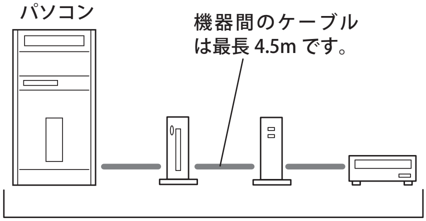
IEEE1394 機器の増設

次の図のように接続してください。

⚠注意　・本製品の電源を切ると、本製品以降に接続されている機器が使用できなくります。

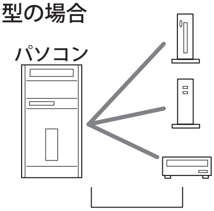
・本製品を USB ケーブルで接続した場合、IEEE1394 機器を本製品に接続することはできません。

● デイジーチェーンの場合



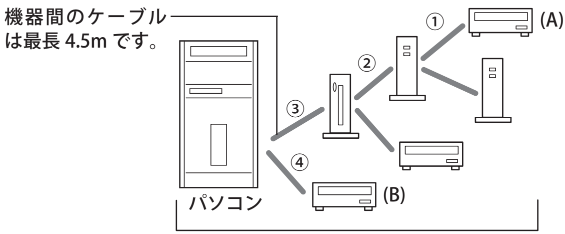
最大 17 台（パソコンを含む）最長 72m

● スター型の場合



ケーブルは最長 4.5m です。

● ツリー型の場合



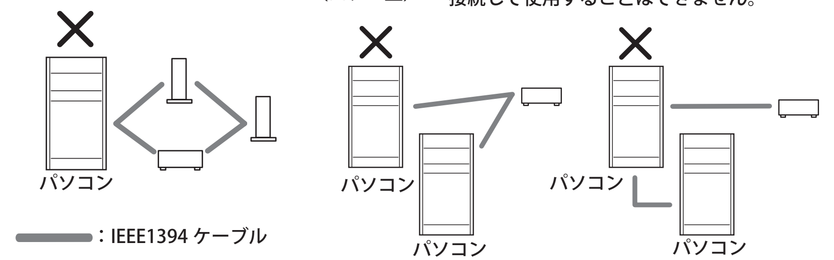
最大 63 台（パソコンを含む）

※ 終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大 16 本（16 ホップ）です。
左図の例での終端は (A) と (B) となり、その間のケーブル数は ①～④の 4 本（4 ホップ）となります。

⚠注意　次のような接続はできません。

（リング型）　　（スター型）

1 台の IEEE1394 対応機器を複数のパソコンに接続して使用することはできません。



：IEEE1394 ケーブル

メモ　Windows98SE の場合、新しく IEEE1394 機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして［OK］をクリックしてください。IEEE1394 ドライバがインストールされます。



「Windows98 Second Edition CD-ROM 上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元］に E:\WIN98 と入力し、［OK］をクリックします（下線部には CD-ROM ドライブのドライブ名を入力します）。

すでに IEEE1394 ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい］を数回クリックしてください。

本製品の取り外しかた（USB 接続時）

本製品を USB ケーブルで接続している場合で、パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチが OFF のときには、そのまま取り外せます。

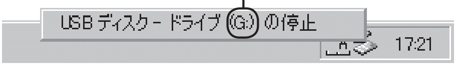
WindowsMe

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 タスクトレイに表示されているアイコンをクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB ディスク - ドライブ (X:) の停止] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

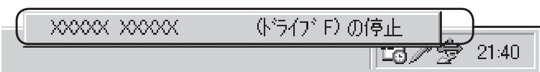
3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

Windows98SE/98

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 タスクトレイに表示されているアイコンをクリックします。

2



ドライブ名 (製品によって異なります) をクリックします。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

4 本製品を取り外します。

WindowsXP/2000/Server 2003

> **省電力ユーティリティ for HD をインストールされた場合は、省電力ユーティリティ のマニュアルに記載の手順で取り外してください（WindowsXP/2000 のみ）。**
> 省電力ユーティリティのマニュアルは、簡単セットアップ（付属の CD をパソコンにセットしたときに表示されるメニュー）から表示できます。省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

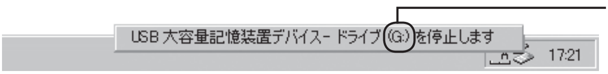
⚠注意 **Windows Server 2003 をお使いの場合や、WindowsXP/2000 で省電力ユーティリティ for HD をインストールしていない場合は、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。**

NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

1　タスクトレイに表示されているアイコン (WindowsXP/Server 2003)、 (Windows2000) をクリックします。

2　メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:）を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。WindowsXP/Server 2003 の場合は、メッセージが少し異なります。



3　[USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

メモ WindowsXP/Server 2003 の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

Macintosh

1　本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 **本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。**

2　本製品を取り外します。

本製品の取り外しかた（IEEE1394 接続時）

本製品を IEEE1394 ケーブルで接続している場合で、パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチが OFF のときには、そのまま取り外せます。

WindowsMe

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 **タスクトレイに表示されているアイコン をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら [IEEE1394 ディスクードライブ (X:) の停止] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



3 **「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。**

Windows98SE

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 **タスクトレイに表示されているアイコン をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら [Stop 1394/USB ディスクードライブ (X:)] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

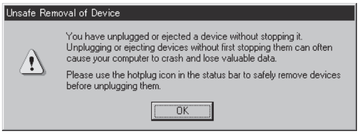


3 **「'1394/USB ディスク' デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

次のページへ続く

4 本製品を取り外します。

⚠注意 IEEE1394 機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。



WindowsXP/2000/Server 2003

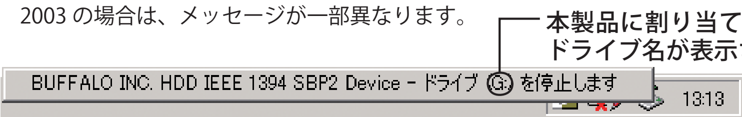
省電力ユーティリティ for HD をインストールされた場合は､省電力ユーティリティ のマニュアルに記載の手順で取り外してください（WindowsXP/2000 のみ）。
省電力ユーティリティのマニュアルは、簡単セットアップ（付属の CD をパソコンにセットしたときに表示されるメニュー）から表示できます。省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと､エラーメッセージが表示されたり､省電力状態にできないことがあります。

⚠注意
- **Windows Server 2003 をお使いの場合や、WindowsXP/2000 で省電力ユーティリティ for HD をインストールしていない場合は、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**
- **以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。**

1 タスクトレイに表示されているアイコン (WIndowsXP/Server 2003)、(Windows2000) をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[BUFALO INC HDD 1394 SBP2 Device - ドライブ (X:) を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。WindowsXP/Server 2003 の場合は、メッセージが一部異なります。



3 「取り外すことができます。」と表示されたら [OK] をクリックし、本製品を取り外します。

メモ WindowsXP/Server 2003 の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

Macintosh

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 本製品を取り外します。

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

● **本製品は出荷時に FAT32 形式 (1 パーティション) でフォーマットされています。WindowsXP/2000/Me/98SE/98 や MacOS 9.1 ～ 9.2.2 でご使用になる場合、通常はそのままの状態でご使用いただけます。**

本製品を複数の領域に分けて使用したり（※ 1)、ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用する場合（※ 2)、Windows Server 2003 や MacOS X 10.0.4 以降でご使用になる場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。

※ 1 MacOS 9.1 ～ 9.2.2 では、本製品を複数の領域に分けて使用できません。

※ 2 MacOS 9.1 ～ 9.2.2 をお使いの場合のみ。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。

- WindowsXP/2000 ･････････････････････【P18】
- Windows Server 2003 ･･････････････････【P19】
- WindowsMe/98SE/98 ･･････････････････【P24】
- Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 ････････････････････【P26】
- Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 ･･･････････････【P27】
- Mac OS X 10.3 以降 ･････････････････････【P29】

WindowsXP/2000 をお使いの方へ

WindowsXP/2000 をお使いの場合、2 種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

- **キャプチャを使っている**
  キャプチャボードなどでテレビやビデオの映像を録画したデータを本製品に保存する場合。
- **DVD を作ることがある**
  本製品を取り付けたパソコンで DVD-Video やデータディスク (DVD) を作成する場合。
- **容量が 4GB 以上のファイルを保存したい**
  1 ファイルが 4GB 以上の容量を持つファイルを本製品に保存したい場合。
- **NTFS 形式でフォーマットしたい**
  本製品を NTFS 形式でフォーマットしたい場合。

→

「DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルの容量が 4GB を超える可能性がある）場合や Windows Server 2003 をお使いの場合【WindowsXP/2000/Server 2003 のみ】」【P19】

1 ファイルが 4GB を超えるファイルを保存することができます。
本製品を NTFS 形式でフォーマットします。

⚠注意 **この手順でフォーマットした場合、WindowsMe/98SE/98、Macintosh などからアクセスはできません。**

- **簡単にフォーマットしたい**
  簡単にフォーマットしたい場合。ただし、1 ファイルの容量が 4GB 以上のファイルは保存できません。
- **マルチブート環境などで他の OS からもアクセスしたい**
  WindowsXP/2000 の他に、WindowsMe/98SE/98 などからアクセスしたい場合。
- **FAT32 または FAT16 形式でフォーマットしたい**
  本製品を FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしたい場合。

→

「WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合」【P24】

簡単にフォーマットすることができます。また、マルチブート環境での使用に適しています。
本製品を FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットします。

⚠注意 **1 ファイルが 4GB 以上のファイルを保存できません。**

DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合や Windows Server 2003 をお使いの場合【WindowsXP/2000/Server 2003 のみ】

ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

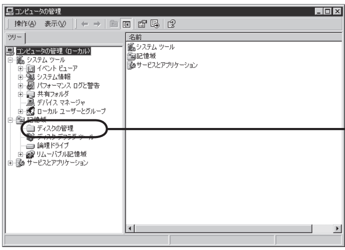
⚠注意
- **本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
  ※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
- **マルチブート環境などで他の OS からアクセスする場合は、NTFS 形式でフォーマットしないでください。他の OS からはファイルを参照できません。**
- **以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。**

1 WindowsXP/2000/Server 2003 を起動し、コンピュータの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。

2 デスクトップにある［マイコンピュータ］を右クリックし、［管理］をクリックします。

(WindowsXP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックし、［管理］をクリックします。)

3



［ディスクの管理］をクリックします。

4

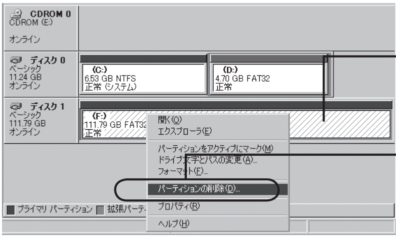


本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

次のページへ続く

5



① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

② [パーティションの削除] をクリックします。

6 「パーティションを削除しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

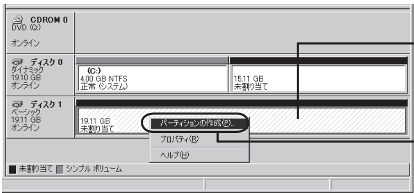
パーティションが削除されます。

7



未割り当て領域が表示されます。

8

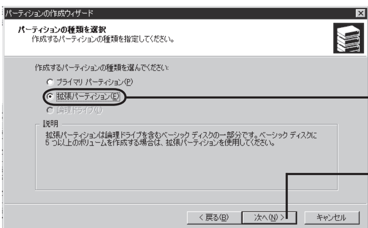


① 未割り当て領域を右クリックします。

② ［パーティションの作成］(WindowsXP/Server 2003 の場合は [新しいパーティション]) をクリックします。

9 [パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXP/Server 2003 の場合は [新しいパーティションウィザードの開始]）と表示されたら、[次へ] をクリックします。

10

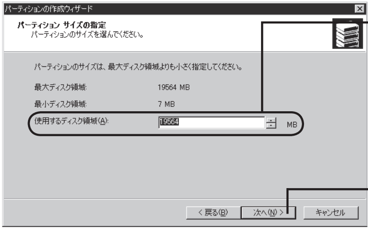


① ［拡張パーティション］をクリックして（・）を付けます。

② ［次へ］をクリックします。

次のページへ続く

11



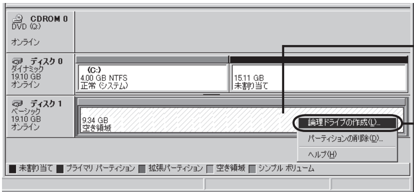
① ［使用するディスク領域］でサイズを指定します (WindowsXP/Server 2003 の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］をクリックします。

12 **[パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXP/Sever 2003 の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]）と表示されたら、[完了] をクリックします。**

13

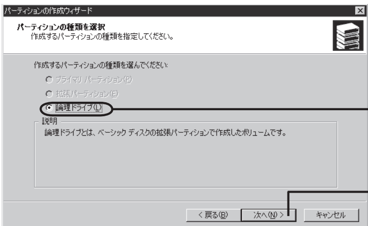


① 空き領域を右クリックします。

② ［論理ドライブの作成］(WindowsXP/Server 2003 の場合は [新しい論理ドライブ]）をクリックします。

14 **[パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXP/Server 2003 の場合は [新しいパーティションウィザードの開始]）と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

15

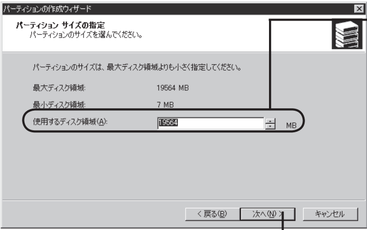


① ［論理ドライブ］が選択されていることを確認します。

② ［次へ］をクリックします。

次のページへ続く

16

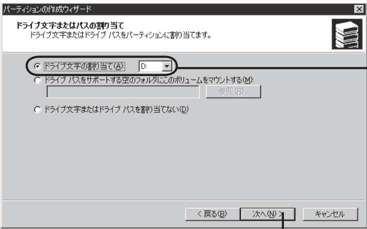


① ［使用するディスク領域］でサイズを指定します (WindowsXP/Server 2003 の場合は [パーティション サイズ] でサイズを指定します)。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］をクリックします。

17

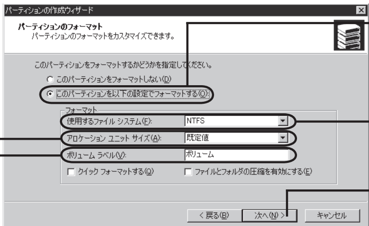


① ［ドライブ文字の割り当て］(WindowsXP/Server 2003 の場合は [次のドライブ文字を割り当てる]）をクリックし、ドライブ文字を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ］をクリックします。

18 **フォーマット形式などを設定します。**



① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする］をクリックし、(•) を付けます。

② ［NTFS] を選択します。

③ 各項目を設定したら、[次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

⚠注意 **本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

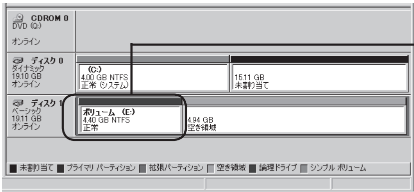
次のページへ続く

19 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXP/Server 2003 の場合は [新しいパーティションウィザードの完了]）と表示されたら、[完了] をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

20



フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1. 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。
2. 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ］をクリックします。

   注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**

3. 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 **16** でサイズを指定し、手順 **20** までを作成する数だけ繰り返します。

4 フォーマット

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合

⚠注意 FAT32 形式でフォーマットした場合、1 ファイルの最大容量は 4GB となります。WindowsXP/2000 をお使いの場合には、【P19 「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが 4GB を超える可能性がある）場合や Windows Server 2003 をお使いの場合」】の方法でフォーマットすれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できます。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。
フォーマットにはDISK FORMATTERを使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

■ DISK FORMATTER をインストールする

1　パソコンにユーティリティ CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。

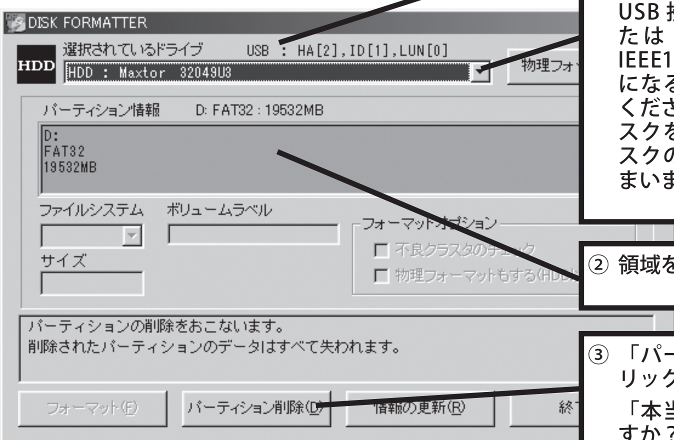
2　「DISK FORMATTER のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

■フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatter を起動します。



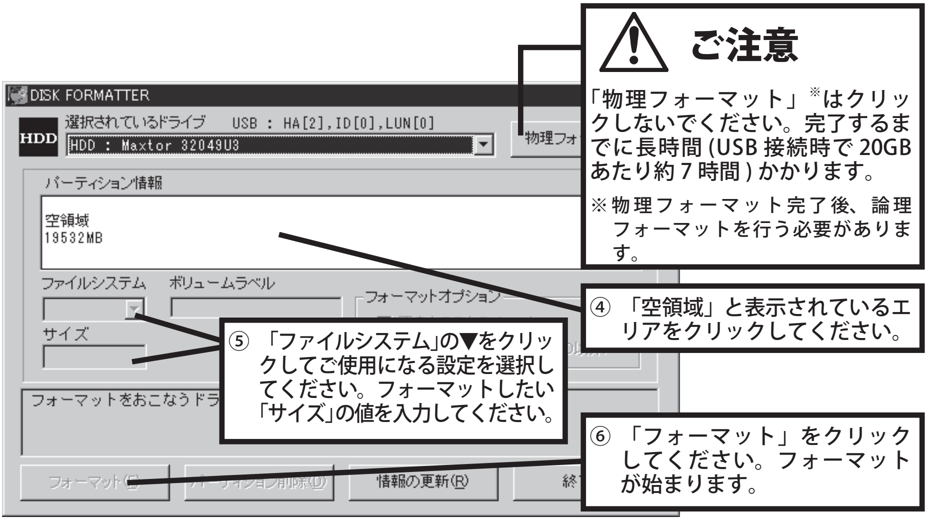
① ▼をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」(本製品を USB 接続している場合) または「IEEE1394」(本製品を IEEE1394 接続している場合) になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

② 領域をクリックします。

③ 「パーティション削除」をクリックします。
「本当に削除してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く



⚠注意　137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ

137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

⚠注意
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。**

メモ
- 2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では､1 つの領域は最大 2047MB となります。
- Disk Formatter に関する詳細は、ユーティリティ CD に収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル 」を参照してください。

4
フォーマット

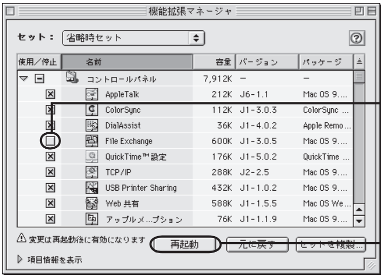
Mac OS 9.1 ～ 9.2.2

ここでは例として、本製品を MacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

⚠注意　**・フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。**
・Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 では本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。

1 **［アップルメニュー］－［コントロールパネル］－［機能拡張マネージャ］をクリックします。**

2



① 「File Exchange」の左の［×］をクリックし、［□］にします。

② ［再起動］をクリックします。

3 **パソコンが再起動したら、本製品を接続します。**

> **「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージが表示された場合**
>
> ディスクを初期化します。手順 **6** へ進んでください。

4 **デスクトップ上にある本製品のディスクアイコンをクリックして選択します。**

5 **画面上部にあるメニューバーの［特別］をクリックし、［ディスクの初期化］をクリックします。**

6 **「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に［Mac OS 拡張］を選択して［初期化］をクリックします。**
本製品の初期化が始まります。

7 **［アップルメニュー］－［コントロールパネル］－［機能拡張マネージャ］をクリックします。**

8 **「File Exchange」の左の［□］をクリックして［×］にし、［再起動］をクリックします。**
パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。

Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**

1 デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。

2 [Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［アプリケーション］フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。)

3 ［Disk Utility］をダブルクリックします。

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。)

4 Mac OS 10.0.4 の画面



①［Drive Setup］をクリックします。

②フォーマットするディスクをクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS X 10.1/10.2 以降の画面



①フォーマットするディスクをクリックします。

②[情報] をクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

次のページへ続く

5 Mac OS X 10.0.4 の画面



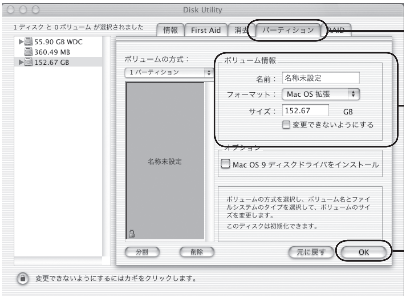
① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション方式(作成するパーティションの数)を設定します。

③パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

④ ［パーティション］をクリックします。

Mac OS X 10.1 の画面

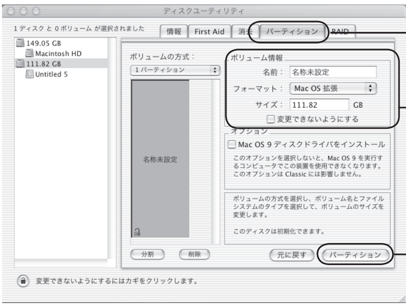


① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③ ［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.2 以降の画面



① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③ ［パーティション］をクリックします。

※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 **「(略) この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。**

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
- **本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

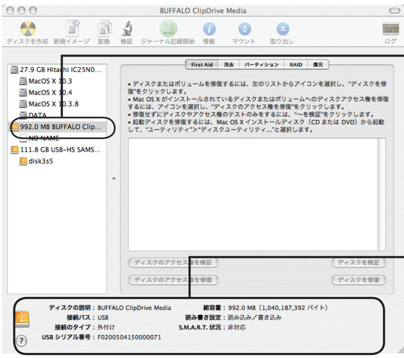
2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3



［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

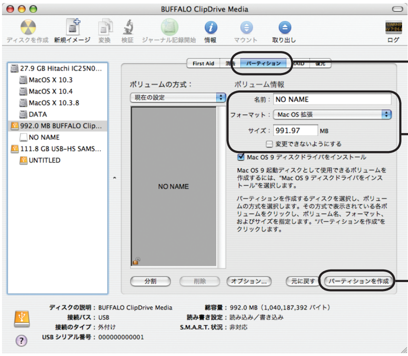
4



①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5



①［パーティション］をクリックします。

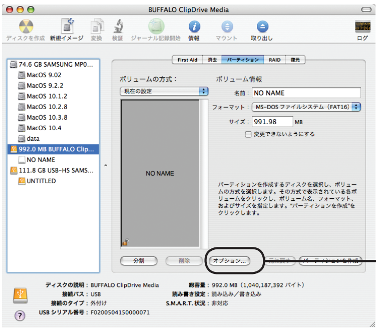
②ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［パーティションを作成］をクリックします。

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1



[オプション] をクリックします。

2



①［Apple パーティション方式］を選択します。

②［OK］をクリックします。

6



[パーティション]をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- フロッピーディスク
- 光磁気ディスク（MO）
- ネットワーク（LAN）サーバ
- 増設ハードディスク
- CD-R/RW
- DVD-RAM
- DVD-R/RW
- DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限り MO など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ **Windows98 付属のバックアップツールを使って、MO にデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計が MO ディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98 付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MO ディスクの空き容量に納まるようにしてください。**

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- **エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Windows98SE/98 にて 130GB 以上の本製品を出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**
- **Macintosh には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。**

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。
このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化 (デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると､ディスクアクセスの速度が改善されます。Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には､ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。**

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

準拠規格		USB Specification Rev2.0、 IEEE 1394-1995 規格、 IEEE 1394a-2000 規格
転送速度		最大 480Mbps（USB2.0）（※ 1)、最大 12Mbps（USB1.1)、 最大 400Mbps（IEEE1394a）
コネクタ		USB：　　USB コネクタ シリーズ B × 1 IEEE1394：4 ピンコネクタ× 1、6 ピンコネクタ× 1
セクタ容量		512Bytes
シークタイム		最大 11msec
出荷時フォーマット形式		FAT32(1 パーティション)
外形寸法		45(W) × 163(H) × 200(D)mm（突起物含まず）
消費電力		最大 25W、平均 17W
電源		AC100V、50/60Hz
動作環境	温度	5 ～ 35℃
	湿度	20 ～ 80%(結露なきこと)
対応機種		USB コネクタまたは IEEE1394 コネクタを標準搭載する次のパソコン ・DOS/V 機（OADG 仕様） ・NEC 製 PC98-NX シリーズ ・Apple 製 Macintosh G3/G4/G5(※ 2) 弊社製 USB ボード (別売) または弊社製 IEEE1394 ボード (別売) を搭載した次のパソコン ・DOS/V 機 (OADG 仕様) ・NEC 製 PC98-NX シリーズ
対応 OS	DOS/V 機 PC-98NX シリーズ	WindowsXP（Media Center Edition を含む）/2000/Server 2003、 WindowsMe(Millennium Edition)、 Windows98SE(Second Edition)、Windows98（※ 3）
	Macintosh（※ 4）	Mac OS 9.1 以降、Mac OS X 10.0.4 以降

※ 1 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps 理論値）で使用するには、弊社製 USB2.0 対応インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。
※ 2 iMac DV で本製品を使用する場合は、Mac OS のバージョンが 9.1 である必要があります。
※ 3 Windows98 では、本製品を IEEE1394 コネクタに接続して使用することはできません。
※ 4 USB2.0 で使用するには、Mac OS のバージョンが 10.2.7 以上である必要があります。

HD-HCIU2 シリーズ ユーザーズマニュアル

2006 年 9 月 20 日 初版発行

発行 株式会社バッファロー